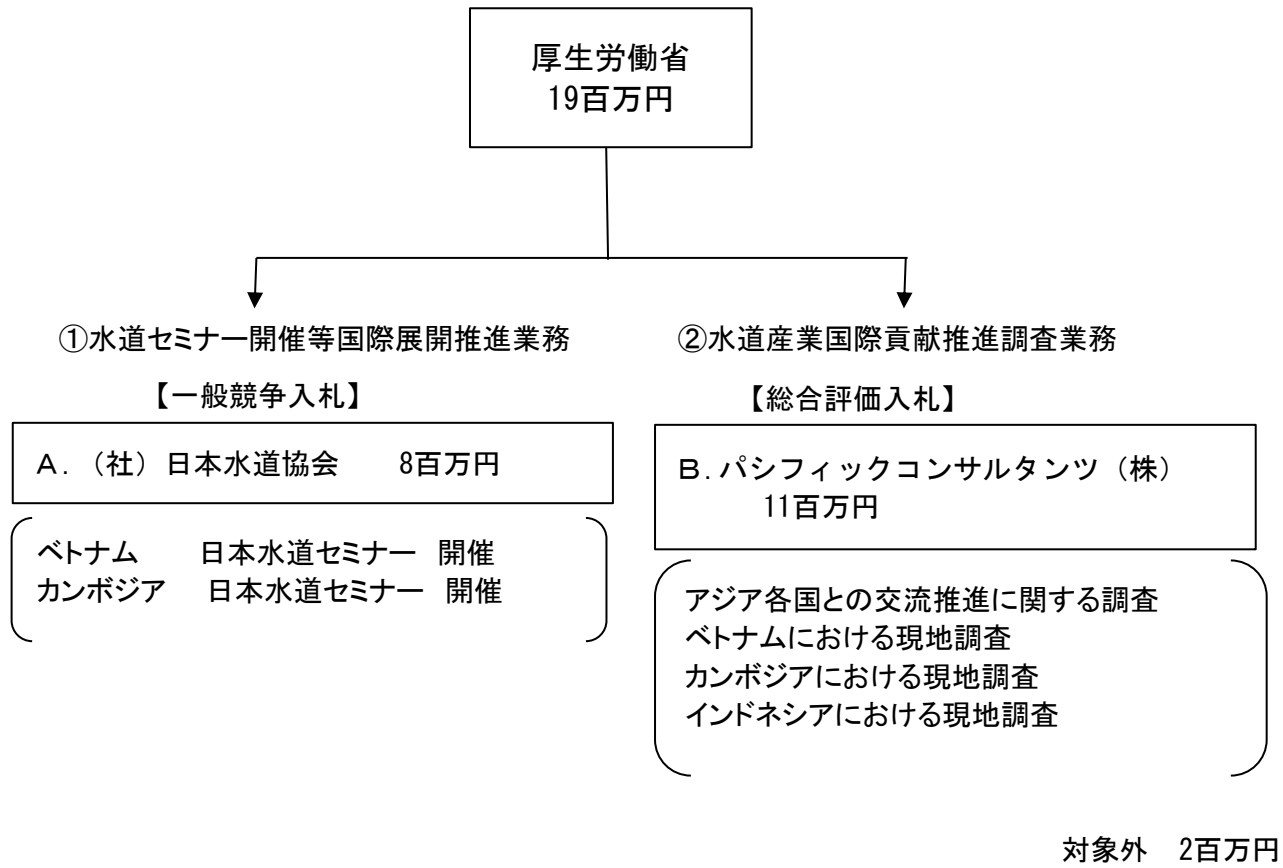


平成23年行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名		水道産業国際展開推進事業費			担当部局庁		健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		平成20年度～平成24年度			担当課室		水道課		水道課長 石飛 博之	
会計区分		一般会計			施策名		Ⅳ 4 2 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		—			関係する計画、通知等		水道ビジョン			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		開発途上国等における安全な水道の確保のためには、今後はODAに加え、民間企業主体の国際貢献を推進していくことが必要となっている。 日本の官民のノウハウを活用し、アジア等において信頼性の高い水道の構築を図りつつ、水道産業の国際展開を支援する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		日本の水道界がアジア各国の水道の発展に貢献するとともに、国際市場に展開していくことを支援するため、次の業務を実施するもの。 ① 水道セミナー開催等国際展開推進業務（現地セミナーの開催） ② 水道産業国際貢献推進調査業務（現地調査、国際展開のケーススタディ、アジア各国の水道発展に寄与しうる日本の水道技術の検討、国内体制整備に関する検討等）								
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	22	22	22	48	38		
			補正予算							
			繰越し等							
			計	22	22	22	48	38		
		執行額		22	22	21				
		執行率（%）		100.0%	100.0%	95.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		日本の水道産業の国際展開推進を図り、官民が共同して海外展開に取り組んでいくための体制整備を検討するものであり、事業の性質から数値で定量的に成果目標を示すことが出来ない。			成果実績	－	－	－	－	－
					達成度	%	－	－	－	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		①セミナー開催 ②調査実施国数			活動実績 (当初見込み)	①回 ②国 〔 ①2 ②2 〕	①1 ②2 〔 ①3 ②1 〕	①3 ②3 〔 ①2 ②2 〕	①2 ②3 〔 ①2 ②2 〕	— 〔 ①2 ②2 〕
単位当たりコスト		①(4百万円／回) ②(4百万円／国)			算出根拠	①執行額/セミナー開催回数 ②執行額/調査実施国数				
平成23・24年度予算内訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	水道セミナー開催		10	5	開催回数の減 調査国数の減 調査国が遠方に変更のため増 調査国数の減					
	水道産業国際展開推進調査		9	5						
	水道技術普及促進ネットワーク整備		11	12						
	国際標準獲得体制整備		8	8						
	海外水ビジネス官民連携型案件発掘形成事業		10	8						
計		48	38							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		支出先や使途については、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できている。 内容については、受託者と適宜協議し、仕様に見合った成果品となっている。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		事業の必要性、執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.(社)日本水道協会			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
直接人件費	人件費(経費含む)	2			
直接経費	印刷製本費、旅費、通訳費、翻訳費等	6			
計		8	計		0
B.パシフィックコンサルタンツ(株)			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
直接人件費	人件費(経費含む)	8			
直接経費	印刷製本費、旅費、ワーキンググループ開催事務費等	3			
計		11	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト
A.(社)日本水道協会

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本水道協会	水道セミナー開催等国際展開推進業務	8	1	99.5%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.パシフィックコンサルタンツ(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パシフィックコンサルタンツ(株)	水道産業国際貢献推進調査	11	2	81.6%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					